

## 近況報告2008年度

大植 祥弘

近畿大学より川崎医科大に移り2年が経ちました。この間、岡教授指導の下がん診療や緩和医療の分野を主に勉強させていただきました。また清水先生・杉生先生・大藤先生も入局され共に学び研鑽することができました。

来年度より、大学院生となりまた新たな一步を踏み出します。臨床は4年間という短い期間でしたが、多くのことを学び、また疑問に思うことも数多くありました。そのようなことを解決していくはじめの一步として、大学院へ進学し研究に没頭し、自らの糧にしたいと思っています。

今までどちらかと言えば、皆の為、和の為に努力してきました部分がありますが、来年度からは少し自分の為にもがんばってみようと思います。結果的にそれが人類にとってよりよきことであることを願いつつ大学院生活を十二分に楽しみたいと思います。

まだまだ若輩者ですが、諸先生方、同門の方々のご指導を賜り努力してまいる所存です。